

## 自己PR

新卒者ですが実践経験があります。

大学4年生の時に、すでにIT企業で働いていた先輩の要請でベンチャー企業(Palmcat社)の創立を手伝いました。大学で様々なソフトウェア開発方法論を学びましたが実務では初めてでしたから、どの方法が適当か、報告はどの形式でどれぐらいの周期とするのが良いかよく分かりませんでした。それで最初はプログラミングしかできませんでした。毎日、報告書を作成し、会議を行い、先輩からの指導と刺激を受けながら、学校で学んだことに加えて実践経験を積みました。その結果、開発したプロトタイプで Palmcat社が事業の初期に 800 万円規模の投資を受けることができました。このような経験を活かして貴社に貢献したいと思います。

## 難しい目標に挑戦し、克服した経験

Palmcat社での勤務経験について話したいと思います。選考がコンピュータ工学だったので半導体、センサーを直接扱ったことがありませんでしたが、工学的知識を活用すれば可能性があるかと判断し、カスタムPCBと9軸センサー、Bluetoothモジュールなどを使用して手の3次元動きとジェスチャーを認識、ベクターとコマンドを作り出すファームウェアを開発したことがあります。最初はよく分からない分野だったので、締め切りに合わせることも大変でした。しかし、初の6ヶ月は間毎日睡眠時間を5時間以下に減らし、地道にRAW位置データを補正するフィルターに関する資料を探索、ジェスチャーを認識できるアルゴリズムを開発するための研究を続け、該当プロジェクトの開発環境に対する理解を深めることができ、目標を達成することができました。この過程を通じて、根気強く正しく接近すれば、難しい問題も解決できるということを学びました。

## 志望動機

企業による違い

## 日本での就職の動機

ソフトウェア開発は、一般的に総時間の70%程度を要求分析・設計・テストに、30%程度を実装に割り当てるべきだと言われています。しかし、韓国のIT企業は、結果を素早く導き出す強みがありますが、各工程での完全性ではある程度短所があると考えます。それで、開発方法論の原則を守ることが困難であり、計画や検討のための時間が削られているのが事実です。一方、日本社会は韓国と比べると原理原則により忠実であり、「理想を追求すること」を大切にしていると考えます。このような点で、韓国より日本のIT業界の方がより豊

かな将来性があると考えました。

## 志願動機

エンジニアなら、**〇〇社**に魅力を感じるべきです。

**〇〇社**が、エンジニアとして支持するしかない会社だからです。現代社会は、IT産業を中心にする技術コンバージョンスが、フィンテック・スマートファクトリーのような新しいマーケットや産業を開拓しながら、リードしていると考えます。すなわち、エンジニアと会社が専門性と同時に多様性を持たなければならない時代になっていると考えます。しかし、貴社はすでに貴社特有の「**〇〇理念**」を基に、このような産業の変化の先駆けをなさっていると存じます。私もエンジニアとして、明るい未来の貴社に貢献致したいと存じます。